

**平成27年度進行管理・評価シート**  
**竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 建物修景補助事業	.....	3
2 旧竹屋書店保存修理事業	.....	4
3 吉川家住宅保存修理事業	.....	5
4 史跡岡城跡保存整備事業	.....	6
5 西光寺境内保存修理事業	.....	7
6 道路美装化事業	.....	8
7 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	.....	9
8 歴史資料館等公開活用整備事業	.....	10
9 城下町回遊館整備事業	.....	11
10 竹田荘公園等整備事業	.....	12
11 風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)	.....	13
12 駐車場整備事業	.....	14
13 城下町路地裏整備事業	.....	15
14 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	.....	16
15 城下町空き家・空き店舗再生促進事業	.....	17
16 城下町案内ガイド養成事業	.....	18
17 城下町・岡城跡歴史学習事業	.....	19
18 城下町案内マップ等制作事業	.....	20
19 城下町移住定住支援事業	.....	21
20 城下町・岡城跡回遊促進事業	.....	22
21 民俗芸能等支援事業	.....	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理に関する事項	.....	24
2 文化財の保存又は活用に関する事項	.....	25
3 文化財の周辺環境の保全に関する事項	.....	26
4 文化財の防災に関する事項	.....	27
5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	.....	28
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史的風致維持向上計画認定について		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 計画認定による観光客数の推移について	.....	30
□法定協議会等におけるコメント(様式4)	.....	31

評価軸①-1  
組織体制

		評価対象年度	26～27年度
		項目	現在の状況
		計画推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課・総合まちづくりセンター、文化財保護部局の文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。

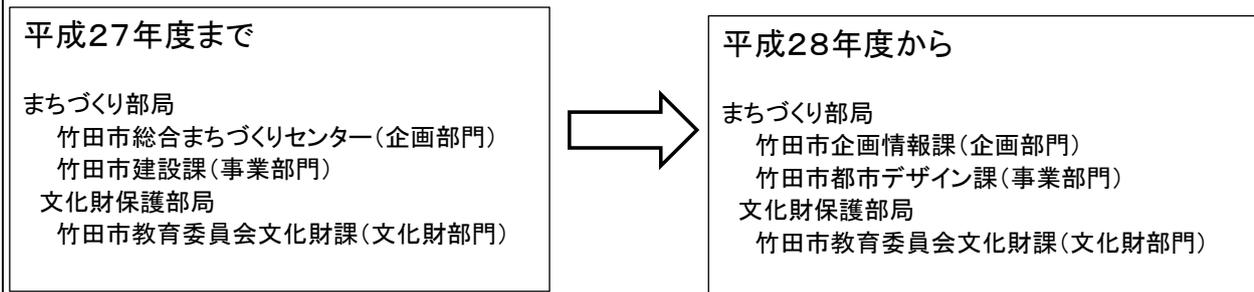
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

26～27年度中の組織体制の変更なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成28年度に庁内の機構改革により竹田市総合まちづくりセンターが無くなり、都市デザイン課が新設されることによる事務局体制の変更。また、竹田市景観条例の施行により竹田市史跡等環境保存条例が廃止されることに伴い、竹田市史跡等環境保存審議会も廃止されることから法定協議会委員の変更の必要がある。

状況を示す写真や資料等

事務局体制の変更



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	27年度
景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項		■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容

竹田市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点であった。山城だった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。

平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つまちとなった。しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。このような背景のもと、平成16年に成立した景観に関する総合的な法律である「景観法」に基づき、これまでの旧市町における景観施策を整理し、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、「竹田市景観計画」を現在策定中である。

今後策定する「竹田市景観計画」は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくりを進めるための共通のビジョンとなる計画となる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

竹田市景観計画を平成27年度策定した。住民説明会9回、策定委員会1回、ワークショップ2回実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成28年度に竹田市景観条例が施行されるが、市民や事業者、関係行政機関への周知を徹底する必要がある。

状況を示す写真や資料等



策定委員会の様子



住民説明会の様子

「竹田市景観計画」策定・「竹田市景観条例」制定の経緯	
平成26年度	
9月2日	・第1回竹田市景観計画策定庁内調整会議開催
10月28日	・第2回竹田市景観計画策定庁内調整会議開催
12月1日	・第3回竹田市景観計画策定庁内調整会議開催
1月24日～2月8日	・市民との合意形成(市民のニーズを再度把握) 竹田(1/24) 久住(1/31) 荻(2/7) 直入(2/8)
2月18日	・第4回竹田市景観計画策定庁内調整会議
3月3日	・第2回竹田市景観計画策定委員会
3月17日	・第3回竹田市景観計画策定委員会
3月27日	・第6回竹田市都市計画審議会(情報提供)
平成27年度	
10月14日～28日	・地区説明会(基調案、届出対象行為について) ※ 荻(10/14) 竹田(10/16) 直入(10/20) 久住(10/28)
12月8日	・第1回ワークショップ(意見交換会)
1月25日	・城下町重点地区説明会
1月29日	・第1回景観計画庁内連絡会議
2月2日	・第2回景観計画庁内連絡会議
2月22日	・第2回ワークショップ(意見交換会)
2月12日～17日	・地区説明会(景観基準・届出基準・その他について) ※ 久住(2/12) 荻(2/16) 直入(2/17)
2月24日	・第4回竹田市景観計画策定委員会 15:30～
3月1日～14日	・HPでの意見募集
3月15日	・竹田市都市計画審議会委員からの意見聴取
3月25日	・竹田市景観条例 議決

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	26~27年度
		現在の状況
建物修景補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)

計画に記載している内容  
 竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。  
 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①建物修景事業  
 竹田地区における建物修景事業を実施した。平成26年度10件 平成27年度4件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も計画に沿った事業推進を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

建物修景事業

修景前



修景後



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
旧竹屋書店保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財)の店舗兼 主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理工事を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場産品の販売や休憩施設として活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度、建物の所有者との保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		旧竹屋書店保存修理事業については、平成28年度事業概要の決定、29年度事業着手の予定。	
状況を示す写真や資料等			
			
旧竹屋書店現況			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
吉川家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大正11年に建造された吉川家住宅(登録有形文化財)の主屋・土蔵・倉庫について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理工事を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、観光案内や休憩施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存修理工事の完了している倉庫一で現在染物屋の工房として活用し、公開活用を実施している。倉庫二について、平成28年度一部修理予定。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 主屋及び倉庫一については、整備は完了しているが、歴史的風致の維持向上を図るため、倉庫二・三の活用方針を決定し早急な保存修理が必要である。

状況を示す写真や資料等



吉川家住宅倉庫一



吉川家住宅倉庫一活用状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	26～27年度
		現在の状況
史跡岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和63年度～平成35年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は、岡城跡を訪れる来訪者に対し、史跡の説明や誘導を行うための案内板・説明板の設置を行った。(説明板6基・案内板1基)。また、広大な城内に便益施設が1カ所しか存在しないため、訪れる来訪者に対する不便さ解消が課題となっていたため、新たな便益施設の建設に着手した。平成27年度は便益施設の設計を行い、3月に建設に着手しており28年度中に完成予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成27年度に公有化された、二の丸跡・三の丸跡の整備及び活用方針の策定を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



説明板設置状況



案内板設置状況



便益施設建設予定箇所(二の丸跡)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
西光寺境内保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 大分県文化財保存事業費補助金・竹田市文化財保存事業費補助金

計画に記載している内容 岡藩主中川家とかかわりの深い西光寺は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための御成門及び本堂の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

西光寺遥拝門は建物が傾き補強材で支えている状況に加え、屋根部分についても瓦が剥がれ落ち、崩壊の危険性があるため保存修理を実施した。また、保存修理現場を一般公開し現場説明会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本堂の縁周り、墓所についても腐食や破損が進んでいるため、早急な保存修理が必要である。

状況を示す写真や資料等



保存修理施工前



保存修理施工後



修理現場公開の様子



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	26~27年度
項目	現在の状況	
城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 街路灯・案内看板・道路標識等を統一した色合いやデザインにすることにより、城下町の景観形成の向上を図るため、街路灯等基本計画・街路灯等撤去・設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無電柱化事業と関連するため合わせて実施予定。平成26年度より無電柱化事業の説明会・測量を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線類無電柱化事業との連動が必要

状況を示す写真や資料等

下本町



本町



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	26~27年度
		現在の状況
歴史資料館等公開活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 歴史資料館で保管、保有する貴重な資料の整理を行い、図書館と併せて歴史的文化的遺産の集約的な分類整理を行い、未整理資料の調査研究を効率的に行うとともに、公開活用を図っていく。またその一環として、文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられている竹田市立歴史資料館(昭和55年建設)及び竹田市立図書館(昭和35年建設)の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

老朽化の進む市立図書館の再整備として、新図書館建設の設計業務(基本設計・実施設計)が完了した。設計にあたっては、アンケート・市民フォーラム・新図書館かたちづくりの集い等を開催し、市民の意見・要望を加え設計のとりまとめを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

歴史資料館は、老朽化の爲展示・収集・保管活動や調査研究活動が十分にできていない状況にあり、建物の構造上、高齢者や障がいのある来館者が見学困難な施設となっている。今後、城下町竹田の歴史と魅力を学習する施設としてまちづくり全体を見通した施設整備を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

新図書館かたちづくりの集いの様子



新図書館かたちづくりの集いの様子



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
城下町回遊館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 城下町の中心部に位置した場所に、城下町を訪れる来訪者の為の案内施設及び地域住民の文化拠点施設とし、誰もが気軽に訪れ交流を深めることができ、中心市街地の賑わいを創出できるような施設整備を行う。整備については、公有財産購入・発掘調査・地積調査・基本及び実施設計・本体工事及び来訪者用駐車場を用地取得・区画線工事・車止めなどを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年～27年度は、市民を交え、他の公共機関(図書館・文化会館・歴史資料館等)との機能分担(案内所・ギャラリー・会議室機能等)の調整を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

平成28年度に、必要な機能の決定、建設予定地の用地取得、地質調査及び埋蔵文化財発掘調査を実施し、平成29年度に工事施工予定。

状況を示す写真や資料等



城下町回遊館建設予定地

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	26~27年度
		項目	現在の状況
竹田荘公園等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 地域住民・来訪者にとって憩いの場である竹田荘公園(昭和62年整備)及び稲葉川やすらぎ公園(平成14年整備)は、休憩施設及び遊具等が老朽化しており、再整備が必要となっている。基本構想・実施設計・植栽舗装工事・遊具休憩施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度より公園整備についてワークショップを実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ワークショップでの意見を取りまとめ、早急な基本構想・実施設計の作成を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

竹田荘公園



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度~30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歩いて楽しい城下町を目指し、空き家や空き地を活用し、子どもたちが安心安全に遊べ、地域住民・来訪者が憩えるポケットパークを整備するため、植栽・舗装工・遊具・休憩施設の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業推進は行っているが、対象となる空き地等を検討中。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		ポケットパークの設置場所は、城下町回遊の主要ルート上(空き地があっても、通行の少ない場所では事業効果が少ない)での設置が望ましいことから、設置場所の設定にあたっては、住民及び関係機関と協議を行い決定する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
ポケットパークのイメージ			

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	26~27年度
駐車場整備事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 来訪者のために、城下町における駐車場配置計画及び実施設計・駐車場整備工事を行い、城下町の快適性・景観形成に配慮し、地域住民・来訪者満足度の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度より駐車場台数等調査し、駐車場の配置等を検討している。

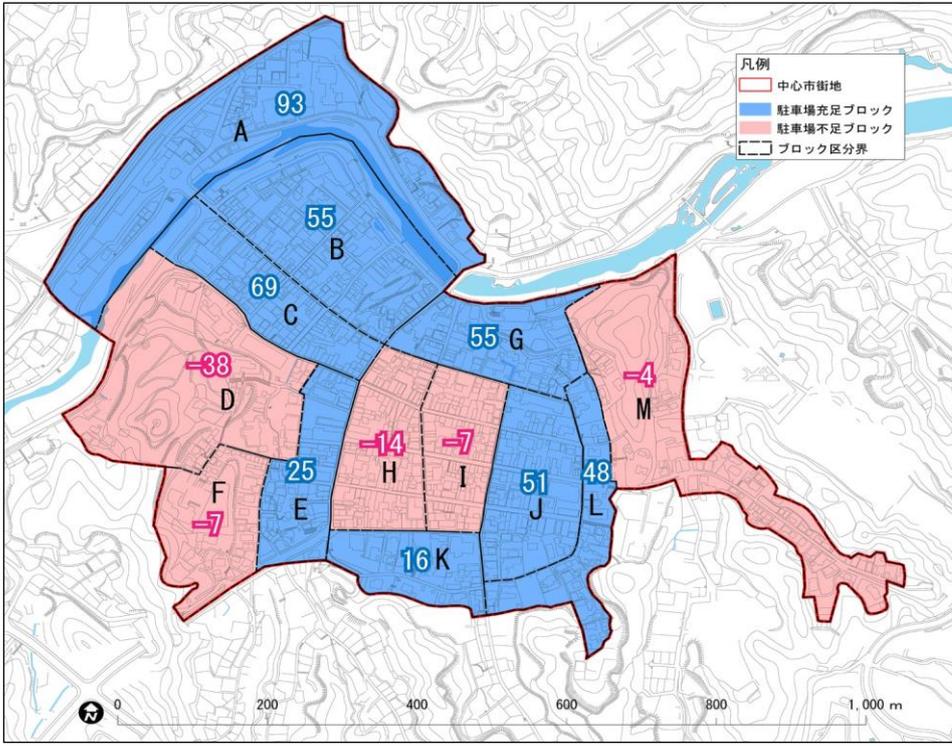
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

駐車場設置について、限られた空き地を効率よく使用するために、ポケットパーク設置等の他の事業推進と連携し計画する必要がある。

状況を示す写真や資料等

参考資料



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
城下町路地裏整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
対象となる裏路地の所有者に対し事業実施の協議を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		回遊性を重視した整備の実施及び個人所有の敷地等を利用するため、十分な住民との意見調整を実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
裏路地整備の例			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
城下町老朽危険空き家等除却促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度は3件の老朽危険家屋除去を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、必要に応じ実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

撤去前



撤去後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	26~27年度
項目	現在の状況	
城下町空き家・空き店舗再生促進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～30年度
支援事業名	単独事業
計画に記載している内容	空き家や空き店舗の有効活用をととして、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図ることを目的に、再生に必要な改修等に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町の空き家を活用し、作家組合の活動の拠点となる施設の整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	空き家等の整備について、町屋の連続性等、城下町景観に配慮した施工を指導する必要がある。

状況を示す写真や資料等



空き店舗を活用した作家組合の活動拠点施設

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26～27年度
		現在の状況	
城下町案内ガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～35年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光ボランティアガイド・岡城こどもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岡城たのしみ隊及び岡城武者揃等の団体の活動に対し支援を行った。岡城こどもガイドの育成(ガイド実習年6回・ガイド研修年2回)を実施した。(26年度3名・27年度4名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

岡城こどもガイド希望者の減少が懸念されることから、募集内容の見直しが必要(学校現場との連携)

状況を示す写真や資料等



こどもガイドの様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
城下町・岡城跡歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～35年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に収蔵される古文書の読み下しを行う古文書解読講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会(由学館セミナー等)を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催した歴史額数事業

由学館セミナー(26年度 1回・27年度 4回 参加者数約100名/回)  
 古文書講座(26年度 65回・27年度 64回 受講者数約20名/回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 現在実施している由学館セミナーの継続的な開催及び平成28年度に竹田市で開催される全国山城サミットへの市民参加を呼び掛ける。  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



由学館セミナーの様子

平成26～27年度開催の由学館セミナー

平成27年 3月 1日開催  
 第8回由学館セミナー  
 「竹田の魅力」歴史ロマン・・・岡城からキリシタンまで・・・

平成27年11月28日開催  
 第9回由学館セミナー  
 ”古田織部没後400年「へうげもの」を読み解く”

平成27年12月12日開催  
 第10回由学館セミナー  
 「祖母傾ユネスコエコパーク認定に向けて」

平成28年2月7日開催  
 第11回由学館セミナー  
 「岡藩の産業戦略」～岡藩ブランドから竹田ブランドへ～

平成28年2月27日開催  
 第12回由学館セミナー

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
城下町案内マップ等制作事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～35年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域に残されるキリシタン関連遺産を広く情報発信するために、市内キリシタン遺跡紹介及びルートマップ等の総合パンフレットを作製した。 「奇跡をめぐる竹田の旅」5,000部(各観光施設及び案内所等に設置し、観光客等に配布)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップ等の作成を実施する。	
状況を示す写真や資料等			



キリシタン遺跡紹介パンフレット  
奇跡をめぐる竹田の旅

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
城下町移住定住支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国内外から優れた作家を招聘し、滞在中の創作活動と地元住民との交流を通じ、芸術・文化振興を図る“アーティスト・イン・レジデンス”は、竹田市でも古くから取り組まれ、一つの文化として根付いてきた。現在でも市民を中心に取り組まれ、地域の芸術・文化活動や移住・交流促進にも大きく寄与していると考えられることから、市の主要な政策として位置づけ、『竹田市アート・レジデンスプロジェクト』が発足(2014年5月)。竹田市レジデンスバンク制度及びTSG「竹田総合学院」を活用し、作家の滞在～創作～発表までを支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		アートレジデンスを通じて、若手の作家・芸術家が活動拠点として竹田市への定着を図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
市内に滞在し作成した作品の披露式の様子			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
		現在の状況	
城下町・岡城跡回遊促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～35年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

急峻な地形に築城された岡城跡は、その立地から体の不自由な人や高齢者にとっては登城が難しい状況にあったことから、平成27年に「岡城登城バス」の運行を開始し、利便性を図った。  
 平成27年度登城バス利用実績 延べ 6,200名 平成27年度レンタル自転車利用実績 530台

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	登城バス利用者から利用に関するアンケート調査を実施しているが、現在のところ運行に関する問題点や苦情等はない。今後もアンケート調査を継続して実施し、利用者の意見収集を図る必要がある。また、城下町から岡城跡へのルート構築を早急に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



岡城登城バス運行状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	26～27年度
項目		現在の状況	
民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成15年度～30年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

次代の担い手の育成の為、子供神楽等の団体への助成を実施した。(平成26～27年度 3団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成25年度までに市内51団体ある民俗芸能保存団体のうち41団体の記録映像撮影が文化庁の補助事業等を活用し完了しているが、残りの団体の記録映像撮影を早急に行うことに加え、伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



子ども神楽の活動の様子(玉来子ども神楽愛護少年団)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	26～27年度 現在の状況
文化財の修理に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

西光寺境内保存修理工事(遥拝門修理)を実施した(P7に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

登録有形文化財(吉川家住宅・旧竹屋書店)整備を28年度～30年度に着手できるよう、関係者及び関係機関との協議を置こうな必要がある。

状況を示す写真や資料等



西光寺境内(遥拝門)修理状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	26～27年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物修景補助事業(P3に記載) 吉川家住宅保存修理事業(P5に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載)  
 歴史資料館等公開活用事業(P10に記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P22に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

平成28年度以降に計画している岡城ガイドセンターと既存の歴史資料館の機能分担の調整及び建設場所の選定が必要。また、早急な城下町から岡城跡へのアクセス整備が必要。

状況を示す写真や資料等



吉川家住宅倉庫一活用状況



岡城登城バス運行状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する事項	26~27年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 竹田市史跡等環境保存条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美装化事業(P8に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P16に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成28年度以降に実施する、電線類無電柱化に合わせて、案内板・標識・街路灯についても整備を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

美装化の例



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	26~27年度
			現在の状況
文化財の防災に関する事項			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るよう努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元自治会・消防本部・消防団と共同で、文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を実施した。 平成26年度:平成27年1月27日実施 西光寺境内 平成27年度:平成27年5月17日実施 中川神社			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行う必要がある。	

状況を示す写真や資料等



西光寺での防火訓練の様子



中川神社での防火訓練の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	26~27年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 、市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町ガイド養成事業(P18に記載) 城下町・岡城跡歴史学習事業(P19に記載)  
 城下町案内マップ等制作事業(P20に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



岡城跡で案内を行う岡城子どもガイド



キリシタン遺跡紹介パンフレット  
 奇跡をめぐる竹田の旅

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史的風致維持向上計画 竹田市に認定証県内初	2014.6.24	大分合同新聞
竹田市の街づくり国認定	2014.6.24	朝日新聞
竹田市の計画認定	2014.6.24	毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大分県内初の認定として、計画認定の記事を新聞各社により報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくりの取り組みについて、報道関係への周知を実施する。

状況を示す写真や資料等



毎日新聞



朝日新聞



大分合同新聞

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

項目	評価対象年度	26~27年度
----	--------	---------

計画認定による観光客数の推移について

計画に記載している内容 来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

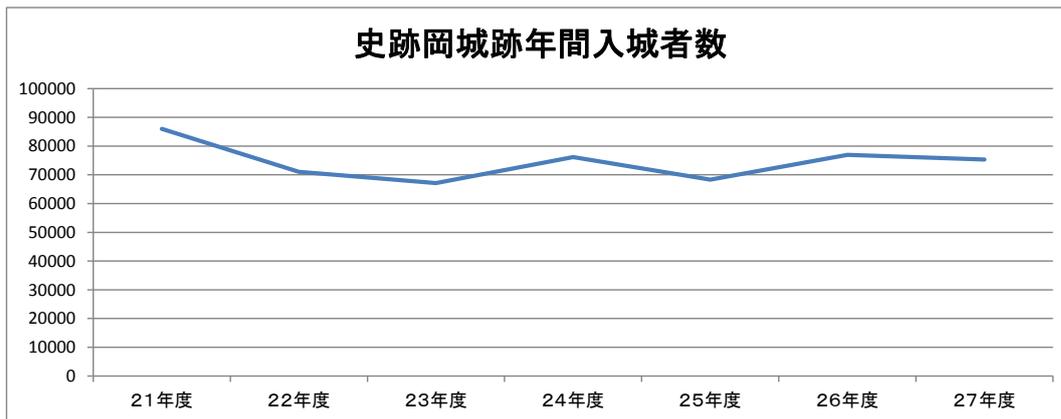
竹田市の代表的な観光施設でもある史跡岡城跡への来訪者数は、平成11年度の15万人をピークに、年々減少傾向にある平成24年度は城下町400年祭のイベントを開催し一時的に増加に転じたが、25年度には約1万人の減少となりイベントでの一時的な増加であった。計画が認定された平成26年度に再び増加に転じ、平成27年度は微減したものの7万人台の入場者数を維持している。また、平成26年度から岡城たのしみ隊・岡藩武者揃え実行委員会等の活動に対し助成を行い、岡城跡での「おもてなし」の充実も観光客数の増加の一因と言える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も着実な事業推進を行い、魅力ある観光政策の推進により、竹田市への来訪者数の増加を図る必要がある。また、ボランティアガイド・岡城楽しみ隊・岡城武者揃え実行委員会等へ助成及び学習会等の開催を実施し、来訪者への案内を充実させる必要がある。

状況を示す写真や資料等



岡城武者揃え実行委員会による案内の様子



評価対象年度	26～27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成28年4月7日(木)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について</p> <p>委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケットパークの整備と、案内板の整備を連動させる必要があるのでは。</li> <li>・老朽危険建物であっても保存すべきものは、部材(瓦等)で利用できるものについても保存し、再利用すべきである。</li> <li>・民俗芸能等支援について、用具の整備のみではなく、担い手不足に対する支援が必要(後継者を作っていく)</li> </ul> <p>(2) 竹田市景観計画策定に伴う計画内容の変更について</p> <p>委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に修景事業で整備した建物について、所有者の高齢化等により空き家になる事例が見られる。このような事例に対する対応策を検討する必要があるのではないか。</li> <li>・景観形成重点地区に住む住民への支援・指導を検討する必要がある。</li> <li>・竹田市史跡等環境保存条例の廃止に伴う部分の計画内容の変更は必要である。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>計画進捗評価については、意見及び提案事項について検討し、今後の事業推進に活かしていく。景観計画策定に伴う本計画の変更を28年度実施する。</p>	